

2019年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕 (連結)

2019年9月13日

上場会社名 株式会社 土屋ホールディングス 上場取引所 東 札

コード番号 1840 URL http://www.tsuchiya.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)土屋 昌三

問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部長 (氏名)上諏訪 広 TEL 011-717-5556

四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無:無

(百円未満切り捨て)

1. 2019年10月期第3四半期の連結業績(2018年11月1日~2019年7月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第3四半期	18, 881	19. 3	△723	_	△666	_	△527	_
2018年10月期第3四半期	15, 833	3.8	△1, 135	_	△1, 087	-	△862	_

(注) 包括利益 2019年10月期第3四半期 △620百万円 (一%) 2018年10月期第3四半期 △865百万円 (一%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第3四半期	△21. 10	_
2018年10月期第3四半期	△34. 48	_

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期第3四半期	22, 553	11, 703	51.9	468. 19
2018年10月期	21, 210	12, 448	58. 7	498. 00

(参考) 自己資本 2019年10月期第3四半期 11,703百万円 2018年10月期 12,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計							
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2018年10月期	_	0.00	_	5. 00	5. 00				
2019年10月期	_	0. 00	-						
2019年10月期 (予想)				5. 00	5. 00				

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2019年10月期の連結業績予想 (2018年11月1日~2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	26, 744	6. 9	266	-	319	-	128	-	5. 12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年10月期3Q	25, 775, 118株	2018年10月期	25, 775, 118株
2019年10月期3Q	777, 507株	2018年10月期	777, 411株
2019年10月期3Q	24, 997, 648株	2018年10月期3Q	24, 997, 770株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P 3 「 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1)四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資などの内需に支えられ、緩やかな回復基調が継続しております。

当社グループが属する住宅・不動産業界におきましては、新設住宅着工戸数の「持家」が前年比で増加しているものの、全体では弱含みで推移いたしました。

このような状況において、当社グループは、主力事業である住宅事業の業績回復に向け、営業基盤である北海道を中心にシェア拡大を目指して、「生活を、楽しくする家」をコンセプトに新商品「LIZNAS BASIC (リズナスベーシック)」の販売を2019年1月11日より開始しております。

また、「世界で一つ、あなただけの家」をコンセプトとした、最高級ブランド「CARDINAL HOUSE (カーディナルハウス)」を創業50周年にあたります2019年6月12日に発売しております。

当第3四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高は188億81百万円(前年同四半期比19.3%増)となりました。利益につきましては、営業損失は7億23百万円(前年同四半期は営業損失11億35百万円)、経常損失は6億66百万円(前年同四半期は経常損失10億87百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億27百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失8億62百万円)となりました。

なお、当社グループは、主要な営業地域が北海道や東北地方で、冬場は工事が進みにくく、第1四半期及び第2四半期に比べ第3四半期及び第4四半期に完成する工事の割合が大きいため、業績に著しい季節変動があります。

セグメントの経営成績は次の通りであります。

①住宅事業

住宅事業の売上高は、前第4四半期に発生した台風及び地震等の影響により前期引渡予定の物件が当期引渡となったことから123億2百万円(前年同四半期比6.3%増)、営業損失は、8億12百万円(前年同四半期は営業損失8億81百万円)となりました。

②リフォーム事業

リフォーム事業の売上高は、台風及び地震等の影響により前期引渡予定の物件が当期引渡となったこと及び大型 リフォームの引渡が増加したことなどから26億92百万円(前年同四半期比34.2%増)、営業損失は、売上高の増加 により72百万円(前年同四半期は営業損失3億25百万円)となりました。

③不動産事業

不動産事業につきましては、仕入・販売ともに前年同四半期と比較し、順調に推移いたしました。また、中古住宅のリニューアルにより付加価値を高めるとともにリノベーション工事の標準化によるコストダウンを図り、収益性の向上に努めました。

当事業の売上高は、大型の土地取引があったことなどから34億31百万円(前年同四半期比94.8%増)、営業利益は、売上高の増加に伴い2億21百万円(前年同四半期比17.4%増)となりました。

④賃貸事業

賃貸事業につきましては、賃貸管理物件の確保に努め、管理受託戸数の増加を図るとともに、オーナー様への支援強化を推進してまいりました。

当事業の売上高は、管理受託戸数は増加いたしましたが、修繕工事の売上高が減少したことから、4億56百万円 (前年同四半期比7.3%減)、営業利益は、営繕工事売上高の減少及び一般管理費が増加したことなどから1億31 百万円(前年同四半期比25.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産の増加(主にその他のうち仮払消費税の増加)12億76 百万円、固定資産も微増し225億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億42百万円増加いたしました。

負債は、流動負債の増加(主にその他のうち仮受消費税、未成工事受入金の増加)21億18百万円、固定負債は微減したものの108億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億87百万円増加いたしました。

純資産は、季節的要因による利益剰余金の減少等により117億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億45百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、「2018年10月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3, 412, 759	2, 729, 49
完成工事未収入金等	818, 823	267, 14
未成工事支出金	797, 879	1, 499, 15
不動産事業支出金	76, 500	99, 81
販売用不動産	4, 192, 095	4, 888, 22
原材料及び貯蔵品	154, 696	162, 24
その他	443, 143	1, 521, 31
貸倒引当金	△9, 379	△3, 88
流動資産合計	9, 886, 517	11, 163, 50
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2, 470, 698	2, 478, 49
機械装置及び運搬具(純額)	856, 082	790, 48
土地	5, 736, 235	5, 717, 22
リース資産 (純額)	27, 457	23, 20
建設仮勘定	3, 598	21, 1
その他(純額)	19,740	39, 79
有形固定資産合計	9, 113, 812	9, 070, 3
無形固定資産		
その他	220, 725	258, 8
無形固定資産合計	220, 725	258, 8
投資その他の資産		
投資有価証券	843, 923	742, 65
長期貸付金	88, 843	90, 2
繰延税金資産	388, 571	624, 77
その他	725, 637	667, 00
貸倒引当金	△87, 540	$\triangle 90, 14$
投資その他の資産合計	1, 959, 435	2, 034, 49
固定資産合計	11, 293, 973	11, 363, 62
繰延資産		, , , , , ,
創立費	2, 053	1, 60
開業費	28, 393	24, 89
繰延資産合計	30, 446	26, 52
資産合計	21, 210, 937	22, 553, 65

		(中位・111)	
	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)	
負債の部			
流動負債			
工事未払金等	2, 443, 415	2, 017, 498	
リース債務	17, 954	16, 117	
未払法人税等	111, 317	48, 212	
未成工事受入金	2, 809, 105	4, 784, 052	
完成工事補償引当金	148, 672	158, 866	
その他	1, 496, 062	2, 120, 081	
流動負債合計	7, 026, 528	9, 144, 828	
固定負債			
リース債務	30, 108	22, 113	
役員退職慰労引当金	126, 691	114, 714	
退職給付に係る負債	818, 938	816, 552	
資産除去債務	65, 383	67, 283	
その他	694, 504	684, 591	
固定負債合計	1, 735, 627	1, 705, 254	
負債合計	8, 762, 155	10, 850, 083	
純資産の部			
株主資本			
資本金	7, 114, 815	7, 114, 815	
資本剰余金	4, 427, 452	4, 427, 452	
利益剰余金	1, 127, 731	475, 308	
自己株式	△156, 852	△156, 864	
株主資本合計	12, 513, 145	11, 860, 711	
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	△36, 680	△137, 360	
退職給付に係る調整累計額	△27, 682	△19, 783	
その他の包括利益累計額合計	△64, 363	△157, 143	
純資産合計	12, 448, 782	11, 703, 567	
負債純資産合計	21, 210, 937	22, 553, 650	
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

		(卡匹・111)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)
売上高	15, 833, 124	18, 881, 945
売上原価	11, 472, 120	13, 928, 066
売上総利益	4, 361, 004	4, 953, 879
販売費及び一般管理費		
従業員給料手当	2, 185, 223	2, 206, 983
退職給付費用	43, 577	48, 051
役員退職慰労引当金繰入額	9, 616	9, 219
賃借料	634, 285	601, 909
その他	2, 623, 929	2, 810, 828
販売費及び一般管理費合計	5, 496, 632	5, 676, 992
営業損失(△)	$\triangle 1, 135, 627$	△723, 112
営業外収益		
受取利息	2, 413	2, 577
受取配当金	16, 579	15, 446
受取事務手数料	7, 981	8, 250
固定資産税等精算金	7, 723	8, 625
その他	31, 542	35, 301
営業外収益合計	66, 240	70, 199
営業外費用		•
支払利息	7, 309	4, 244
減価償却費	295	5
開業費償却	5, 238	5, 509
その他	4, 902	3, 741
営業外費用合計	17, 746	13, 501
経常損失(△)	△1, 087, 133	△666, 414
特別利益	21, 001, 100	۵۰۰۰, ۱۱۱
固定資産売却益	740	11, 644
特別利益合計	740	11, 644
特別損失	110	11,044
固定資産除却損	151	180
役員退職慰労金	605	443
減損損失	8, 193	_
過年度消費税等	60, 308	<u> </u>
事務所移転費用		14, 288
50周年記念事業費用		26, 234
特別損失合計	69, 257	41, 146
税金等調整前四半期純損失(△)	$\triangle 1, 155, 650$	△695, 916
法人税、住民税及び事業税	29, 556	71, 120
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税	29, 330	71, 120
伝入枕寺の文正、伏足寺による柳竹枕顔又は尾竹枕 額	△14, 645	_
法人税等調整額	△308, 516	△239, 603
法人税等合計		
	△293, 605	△168, 482
四半期純損失(△)	△862, 045	△527, 434
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△862, 045	△527, 434

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)
四半期純損失(△)	△862, 045	△527, 434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5, 640	△100, 679
退職給付に係る調整額	2, 654	7, 899
その他の包括利益合計	<u>△</u> 2, 985	△92, 780
四半期包括利益	△865, 030	△620, 214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△865, 030	△620, 214

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

簡便な会計処理

- ①一般債権の貸倒実績高の算定方法
 - 一般債権の貸倒実績高の算定については、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率を使用しております。
- ②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		幸	調整額	四半期連結 損益計算書			
	住宅事業	リフォーム 事業	不動産事業	賃貸事業	合計	(注1)	計上額 (注2)
売上高							
外部顧客への売上高	11, 572, 694	2, 006, 273	1, 761, 524	492, 632	15, 833, 124	_	15, 833, 124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	92, 436	l	7, 663	171, 100	271, 200	△271, 200	-
計	11, 665, 131	2, 006, 273	1, 769, 187	663, 732	16, 104, 324	△271, 200	15, 833, 124
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△881, 157	△325, 035	188, 604	177, 277	△840, 310	△295, 316	△1, 135, 627

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△295,316千円には、セグメント間取引消去△62,834千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△232,482千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。
 - 2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 減損損失8,193千円のセグメントは、全て住宅事業であります。なお、のれん等の該当事項はありません。
- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						四半期連結 損益計算書
	住宅事業	リフォーム 事業	不動産事業	賃貸事業	合計	調整額 (注1)	計上額 (注2)
売上高							
外部顧客への売上高	12, 302, 027	2, 692, 211	3, 431, 225	456, 480	18, 881, 945	_	18, 881, 945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47, 417	8, 783	8, 560	95, 747	160, 507	△160, 507	_
計	12, 349, 444	2, 700, 994	3, 439, 785	552, 227	19, 042, 453	△160, 507	18, 881, 945
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△812, 553	△72, 645	221, 327	131, 614	△532, 255	△190, 857	△723, 112

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 \triangle 190,857千円には、セグメント間取引消去2,858千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 193,715千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。
 - 2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

3. 補足情報

(1)生産、受注及び販売の状況

①販売実績

(単位:千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	
住宅事業	11, 572, 694	12, 302, 027	17, 688, 426	
リフォーム事業	2, 006, 273	2, 692, 211	3, 426, 657	
不動産事業	1, 761, 524	3, 431, 225	3, 225, 772	
賃貸事業	492, 632	456, 480	675, 878	
合計	15, 833, 124	18, 881, 945	25, 016, 734	

②受注状況

セグメントの名称	前第3四半期	連結会計期間	当第3四半期連結会計期間		前連結会計年度	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
住宅事業	14, 408, 025	6, 854, 712	16, 713, 998	10, 077, 397	19, 334, 470	5, 665, 426
リフォーム事業	2, 648, 391	1, 391, 817	3, 091, 862	1, 516, 923	3, 794, 229	1, 117, 272